

市政世論調査（公共施設再配置関係分）の結果 ～公共施設再配置に対する市民の皆さんの声～

■第35回市政世論調査の概要

西尾市では、市民の皆さんの市政に対する意見や要望、生活環境などについてお聞きして、今後の市政に市民の皆さんのご意見などを反映させることを目的に、満20歳以上の市民3,000人の方を対象とした市政世論調査を平成24年10月に実施しました。ここでは、その中の公共施設関係分の回答結果を記載します。

●調査概要

- 調査目的 今後の市政に市民の皆さんのご意見などを反映させることを目的として実施
- 調査対象 住民基本台帳をもとに20歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人
- 調査方法 郵送による配布、回収
- 調査期間 平成24年10月
- 回収状況 【配布数】3,000票 【有効回収数】1,820票
【有効回収率】60.7%
- 調査項目
 - 1 あなた個人のことについて
 - 2 「市の行政など」について
 - 3 「合併後の西尾市」について
 - 4 「公共施設再配置」について
 - 5 「広報にしお」と「インターネット利用」について
 - 6 「災害への備え」について
 - 7 「外出する際の移動手段と公共交通」について
 - 8 「地域活動やボランティア活動への参加」について
 - 9 「土地利用及び基盤整備」について
 - 10 「西尾市の緑のまちづくり」について
 - 11 「地域医療」について
 - 12 「西尾市議会」について
- 結果全容 第35回市政世論調査の結果の全容については、市のホームページから閲覧できます。

■公共移設再配置について～第35回市政世論調査結果～

今後も魅力的で市民の皆さんにとって暮らしやすいまちであり続けるためには、健全な行財政運営を持続していく必要があります。

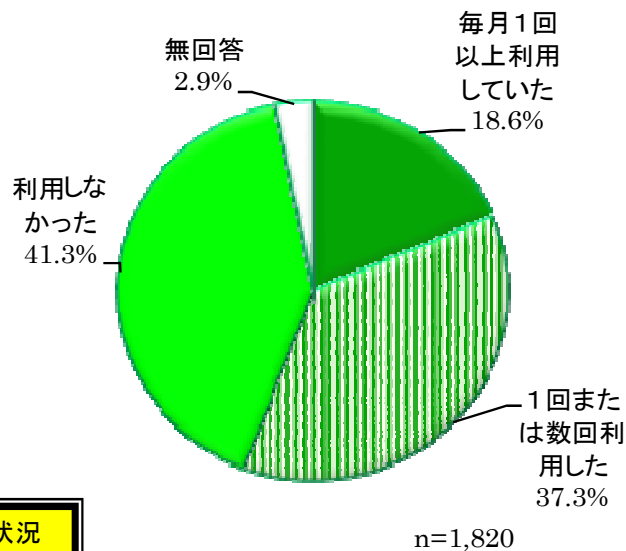
そこで、健全な行財政運営を持続するための手段として、公共施設のより効率的・効果的な維持・管理・運営方法及び施設配置を実現する「公共施設再配置」を具体的に進める必要があります。公共施設を次世代に適切に引き継ぎ、次世代の負担を少しでも軽減するための「公共施設再配置」について、皆さんの意見をお伺いしました。なお、公共施設再配置の関係設問は4問です。

■公共施設の利用状況について

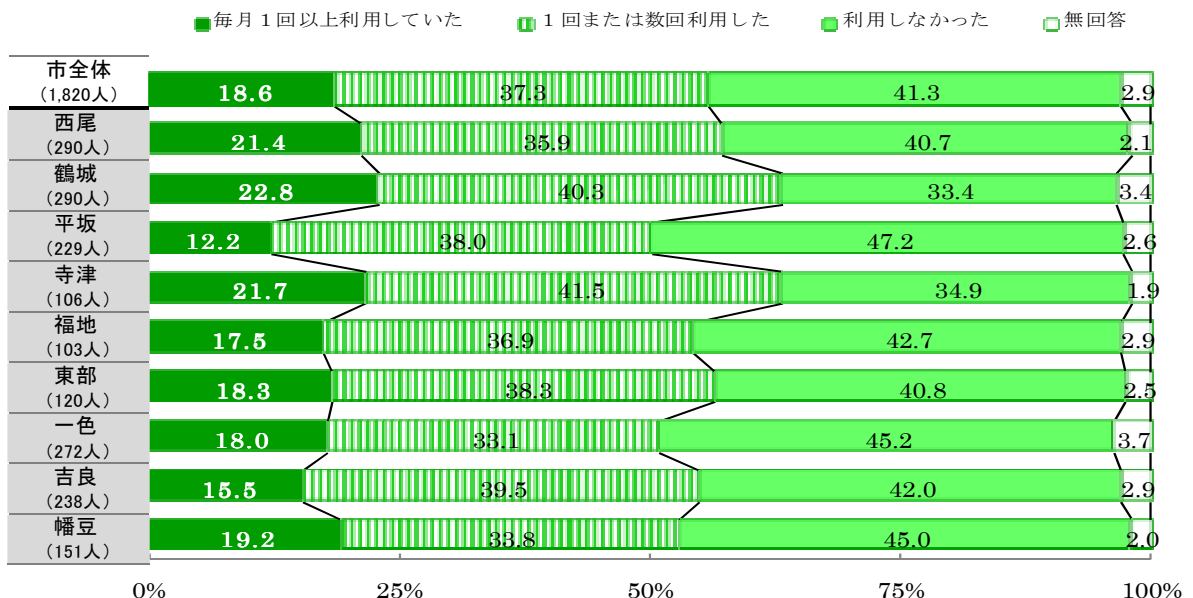
あなたは、過去1年間に西尾市立の公民館・ふれあいセンター、図書館、体育館及び総合福祉センターなどの公共施設を利用したことがありますか。(○は1つ)

※ここでいう「公共施設」には、市役所・支所・出張所・小中学校・幼稚園・保育園・市民病院・保健センター・公園・グラウンドは除きます。

利用回数別



利用回数地区別状況

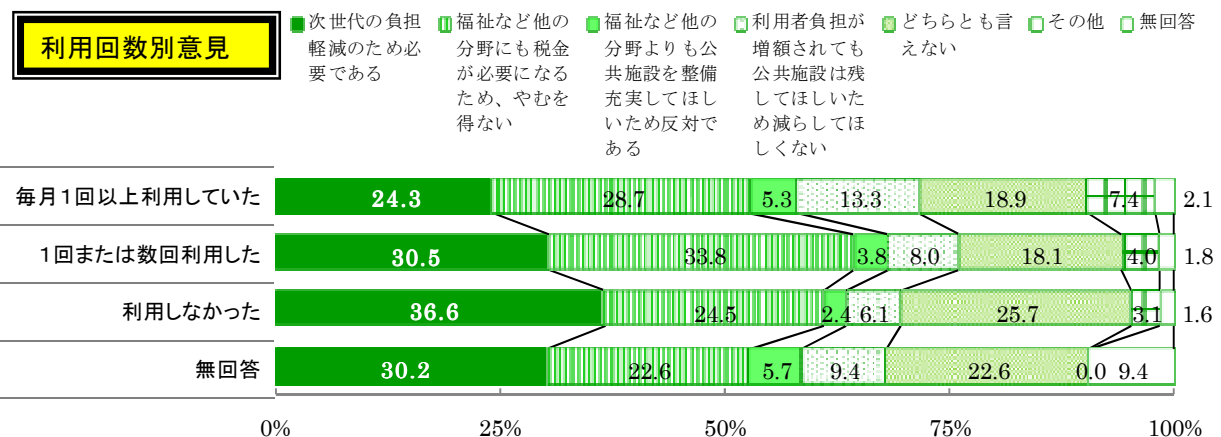
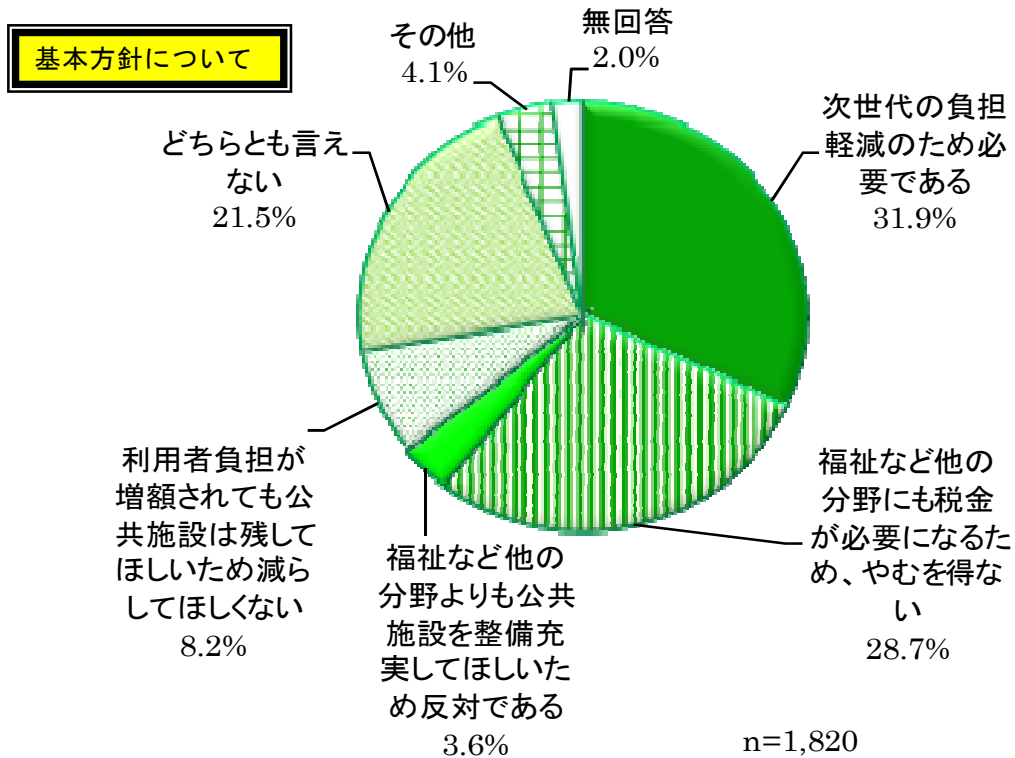


公共施設の利用状況は、利用回数別で見ると「利用しなかった」が41.3%と最も多く、次いで「1回または数回利用した」が37.3%、「毎月1回以上が利用していた」が18.6%と続いています。

また、利用者回数地区別状況で見ると「毎月1回以上が利用していた」は、鶴城地区が22.8%と最も多く、次いで寺津地区が21.7%と続いています。

■ 公共施設を減らすこと（基本方針）について

西尾市では、次世代への負担を軽減するため、公共施設の総量を将来の人口及び財政規模に応じて減らしていく基本方針を定めました。この方針について、あなたはどのように思いますか。（○は1つ）

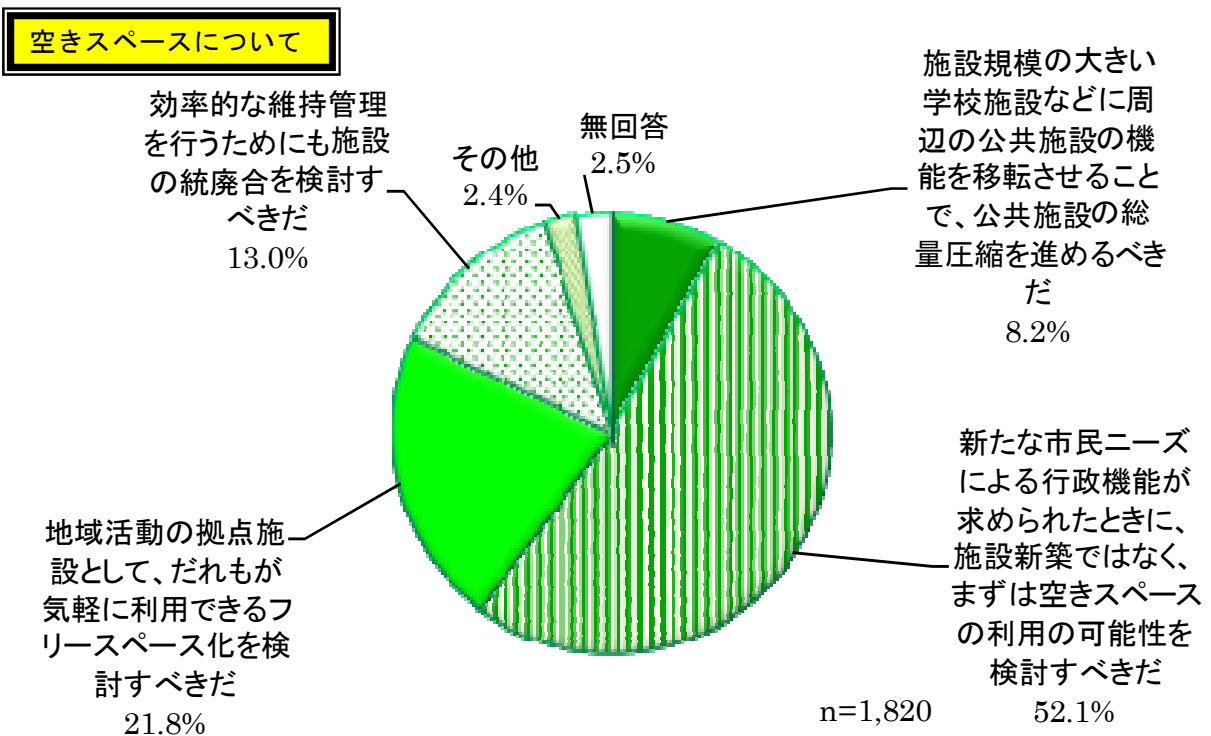


公共施設の総量を将来の人口及び財政規模に応じて減らしていくとした西尾市公共施設再配置基本方針については、「次世代への負担軽減のため必要である」が、31.9%、「福祉など他の分野にも税金が必要となるため、やむを得ない」が、28.7%と多くなっており、約6割のかたが基本方針に理解を示していただいています。

また、公共施設の利用回数別でみると、「次世代への負担軽減のため必要である」という意見が最も多かったのは、「利用しなかった」かたで36.6%、「福祉など他の分野にも税金が必要になるため、やむを得ない」という意見が最も多かったのは、「1回または数回利用した」かたで33.8%となっています。

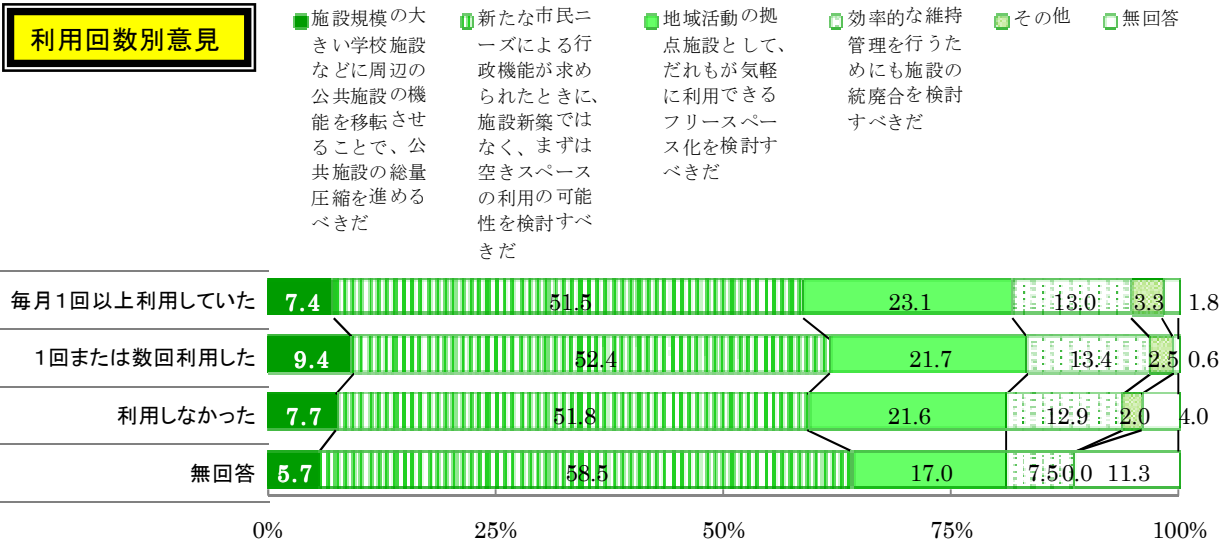
■小中学校などの空きスペースについて

今後の少子化の進展により、幼稚園・保育園・小中学校など、児童生徒が利用する公共施設に空きスペース(使用していない部屋)が発生すると見込まれています。あなたは、こうした空きスペースについて、どう思いますか。(〇は1つ)



小中学校などの空きスペースについては、「新たな市民ニーズによる行政機能が求められたときに、施設新築ではなく、まずは空きスペースの利用の可能を検討すべきだが」が52.1%と最も多く、以下、「地域活動の拠点施設として、だれもが気軽に利用できるフリースペース化を検討すべきだ」が21.8%、「効率的な

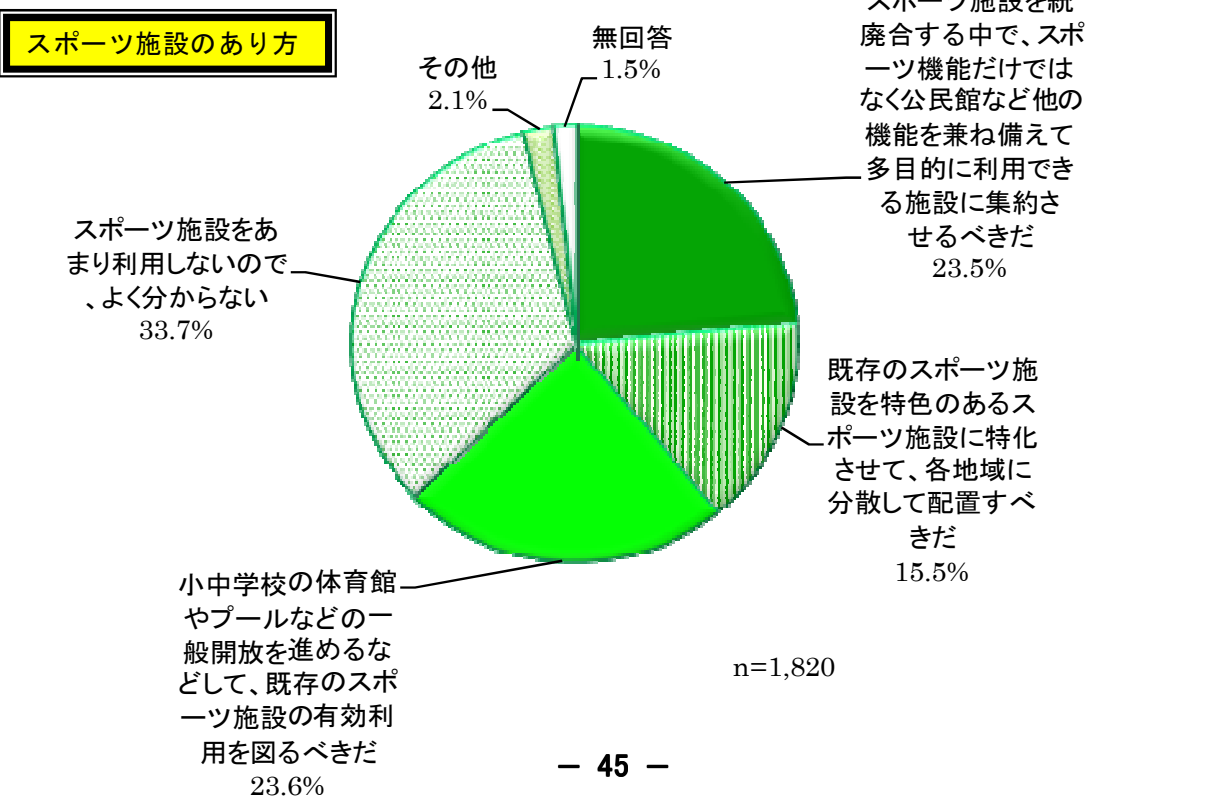
維持管理を行うためにも施設の統廃合を検討すべきだ」が13.0%と続いています。



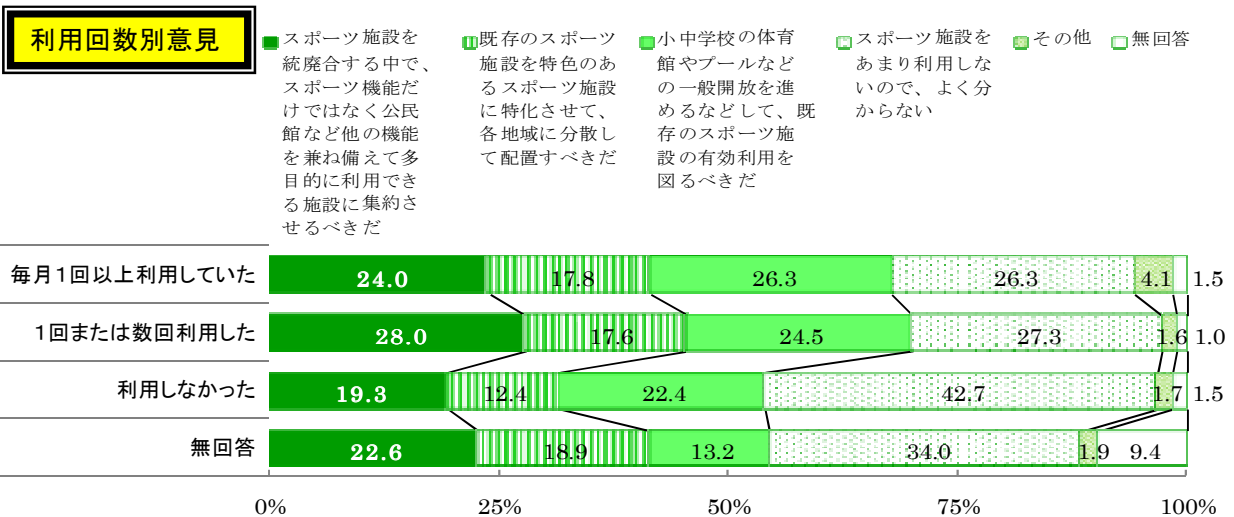
また、公共施設の利用回数別の意見では、「新たな市民ニーズによる行政機能が求められたときに、施設新築ではなく、まずは空きスペースの利用の可能を検討すべきだ」が、利用回数に関係なく最も多くなっています。

■スポーツ施設のあり方

合併に伴い増加した重複施設(同じ利用目的で設置された施設)の一つに、体育館やプールなどのスポーツ施設があります。あなたは、これからのスポーツ施設のあり方について、どう思いますか。(〇は1つ)



スポーツ施設のあり方に対する考え方では、「スポーツ施設をあまり利用しないので、よく分からない」が33.7%と最も多く、次に、「小中学校の体育館やプールなどの一般解放を進めるなどして、既存のスポーツ施設の有効利用を図るべきだ」が23.6%、「スポーツ施設を統廃合する中で、スポーツ機能だけではなく公民館などの他の機能を兼ね備えて多目的に利用できる施設に集約すべきだ」が、23.5%と続いています。



また、公共施設の利用回数別の意見では、毎月1回以上利用していたかたは、「小中学校の体育館やプールなどの一般解放を進めるなどして、既存のスポーツ施設の有効利用を図るべきだ」、「スポーツ施設をあまり利用しないので、よく分からない」という意見がともに26.3%と最も多くなっています。

次に、1回または数回利用していたかたは、「スポーツ施設を統廃合する中で、スポーツ機能だけではなく公民館などの他の機能を兼ね備えて多目的に利用できる施設に集約すべきだ」という意見が28.0%と最も多く、



利用しなかったかたは、「スポーツ施設をあまり利用しないので、よく分からない」という意見が42.7%と最も多くなっています。